

# 1. 事業概要

## 1. 1 事業の背景と目的

水産庁は、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢のバランスのとれた漁業就業構造を確立するため、「水産政策の改革」を公表し、漁業法の改正等、水産施策の抜本的な見直しを進めているところであり、これを加速化する取組として、ICTを活用して漁業活動や漁場環境の情報を収集し適切な資源評価・管理を促進するとともに、生産活動の省力化や、操業の効率化・漁獲物の高付加価値化により、生産性を向上させる「スマート水産業」を推進している。本事業では、水産資源管理と成長産業化の両方に資することを目的に、水産業における「データのフル活用」の具体的な事例を示すため、ユースケースを想定した実証を5課題について行うとともに、そのために必要なガイドライン策定等論点整理と、スマート水産業の基盤構築へ向けた環境整備を行う。

## 1. 2 事業の内容

本事業では以下の5つのプロジェクトを展開する。このうち2プロジェクトは前年度プロジェクトの高度化を目指すものである。

プロジェクト1：前年度からの継続課題である。沖縄県での、まぐろはえ縄漁船団におけるマーケットインを考慮した操業位置情報や漁獲情報の共有を可能とし、漁獲物を高価値で販売可能な環境の実現に関する事業を実施した。

プロジェクト2：前年度からの継続課題である。北海道において、複数の定置網（サケなど）での環境情報等の収集・共有による、新たなビジネスモデルの創出への基盤構築を実施した。

プロジェクト3：山口県沿岸で操業する中型まき網漁船の操業情報を市場情報などと連携し、操業を支援するための技術開発を実施した。

プロジェクト4：富山湾の定置網を対象に環境情報の収集と、それによる操業の効率化、自主的な資源管理を支援するための技術開発を実施した。

プロジェクト5：水産業の成長産業化の主対象の一つである養殖業の事例として、北海道のホタテ養殖業のICT化に関する事業を実施した。

また、水産業分野におけるデータ連携基盤の核として、これらプロジェクトの連携を推進する情報ネットワークを構築した。

スマート水産業推進のための、データ標準化やデータポリシーを検討する有識者協議会を前年度に引き続き設置し、データポリシーおよびデータ連携基盤の規約、データを流通促進するためのデータの標準化について検討した。合わせて連携基盤の参加資格等について

も具体的に検討した。

### **1. 3 事業実施体制**

本事業は、一般社団法人漁業情報サービスセンター（以下「JAFIC」とする。）、国立研究開発法人水産研究・教育機構（以下「水研機構」とする。）、公立大学法人 公立はこだて未来大学（以下「はこだて未来大学」とする。）、日本事務器株式会社（以下「NJC」とする。）、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所（以下「NTT データ経営研究所」とする。）、富山市、株式会社エイム（以下「エイム」とする。）が共同実施機関を組んで実施した。

### **1. 4 事業実施方針**

短期間で確実に成果が上がる計画を立案実行するため、各プロジェクトは独立して事業を進めた。すべてのプロジェクトと有識者会議の検討を総括する総合委員会を設置してプロジェクト全体の管理を行う予定であったが、コロナの影響もありメールベース、個別、ネット会議で対応した。プロジェクトスケジュールを図1-1に示す。

### **1. 5 事業の波及効果**

本事業で実施する各プロジェクトの具体的事例が水産業 ICT 化の指針となる。また開発した API やクラウド等のシステム及び水産の ICT データに関するポリシーや利用ルールについては、後続する事業等でも利活用可能なものとしてそれを推進することで、今後の水産業スマート化や水産ビッグデータ利用において指針となりうるものとした。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
水産業データ連携基盤構築 (全体調整・総括、資源評価への応用)	一般社団法人漁業情報サービスセンター 国立研究開発法人水産研究・教育機構	会議等	▲総合委員会						▲総合委員会				▲総合委員会	
			計画調整	進捗確認				進捗確認			進捗確認			報告書作成
水産業データ連携基盤構築 サービスセンター	一般社団法人漁業情報サービスセンター		ヒヤリング	設計		機材	開発							
プロジェクト1 (沖縄延縄漁業漁獲報告)	公立大学法人 公立はこだて未来大学		現場作業	現場作業							現場作業	資源評価		
プロジェクト2 (北海道定置網漁獲報告)	日本事務器株式会社		設計・テスト・ 連携、機材設置 調達等	環境・漁獲情報 収集							評価分析			
プロジェクト3 (山口県沿岸漁業情報収集)	株式会社エム		データ取得	システム構築		システム評価	システム改善					連携評価	資源評価応用	
プロジェクト4 (富山湾定置網情報収集)	富山市		ブイ等設置調整	データ収集		データ分析評価						とりまとめ		
プロジェクト5 (サロマ湖養殖情報収集)	日本事務器株式会社		設計・テスト・ 連携、システム 検証	環境・漁獲情報 収集							評価分析			
有識者会議	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	会議等	▲委員会		▲委員会	▲委員会		▲委員会		▲委員会		▲委員会		
			ガイドライン	標準化検討		ヒヤリング等	ガイドライン適 合性と策定		標準化ガイドラ イン					
JV			▲JV運営会議			▲JV運営会議			▲JV運営会議			▲JV運営会議		

図1-1 実施計画(全体)